



～いばらき 花名所～  
国営ひたち海浜公園  
PRESS RELEASE

2007. 5. 1

## 「海浜陶芸塾第十期開講」 塾生募集

申込締切：6月22日（金）必着

について

謹啓 新緑の候 皆様方にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、平成14年1月からスタートした「海浜陶芸塾」は、開講して5年余りが経過し、開講以来、延べ約12,000人を超える方が陶芸の魅力に触れ、作陶の技術を学んできました。講師陣は、二百数十年もの歴史を誇る“笠間焼”の現役作家の皆さんで、現代陶芸・伝統陶芸など、講師一人一人の独創的かつ魅力的な作陶を学ぶことができる塾となっています。

このたび第十期開講にあたり、別紙のとおり塾生を募集する運びとなりました。

つきましては、御多忙中のことと存じますが、取材並びに記事掲載の程よろしく願い申し上げます。

謹白



「登り窯焼成」(撮影:平成16年12月19日)

### お問い合わせ先

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4  
ひたち公園管理センター企画課 穂積・田中・北地  
電話 (029) 265-9005 FAX (029) 265-9339  
お客様問い合わせ番号 (029) 265-9001  
ホームページ <http://www.hitachikaihin.go.jp>

～8人の笠間焼作家による海浜陶芸塾～  
海浜陶芸塾第十期開講のご案内

【第十期】(平成19年7月11日(水)～平成19年6月28(土))

- はじめに  
海浜公園では、平成13年秋、笠間焼の作家の皆さんのご協力のもと「登り窯」が完成しました。そして、この縁がきっかけで登り窯をより活発に活用することを目指し、作家の皆さん自らの指導による陶芸塾が、平成14年1月に開講することとなり、現在までたくさんの塾生が陶芸の奥深い魅力に触れています。  
そんな陶芸塾も今年度、第十期が開講します。自然とふれあい、仲間と集い、共に感性を磨く。陶芸技能はもちろん、ゆったりとした時間の中で創作する喜びを感じて頂けることを願っている塾です。



- 海浜陶芸塾の特徴

海浜陶芸塾には3つの特徴があります。

- ① 笠間焼を代表する陶芸作家8人が2人ペアとなり、曜日ごとに個性的な“塾”を展開します。  
例えば…海浜公園特有の陶芸活動  
○砂や石を混ぜる:野焼きなど  
○公園内の素材を利用:樹木、植物、石、貝  
○海浜植物を意識した器づくり:植木鉢など  
○フィールドを活かした活動:野外アート、野焼きなど  
○各曜日クラス合同で制作:ピースモニュメントなどの合同制作  
また、グラスハウスなど園内の施設で作品展を開催しています。
- ② 陶芸棟には「電気窯」や「登り窯」があり、成形から乾燥、素焼き、釉薬付け、本焼きなど、一連の陶芸活動が体験でき、初心者から熟練者まで幅広く様々な方のご要望にお応えします。
- ③ 年に1回、登り窯を使用した本焼きを実施します。登り窯(薪窯)でしか創り出せない作品に挑戦していただけます。

- 実施日 毎週 水・木・金・土
- 時間 10:00～15:30
- 募集人数 各曜日 15名 ※定員になり次第締め切りとなります。
- 締め切り 6月22日(金)必着
- 参加料金 1回 2,000円(月一括前払い、入園料・駐車料金が別途必要です。)
- 材料費 粘土代 1,000円/10kg～

- 陶芸塾の内容

- プログラムについて

各曜日の講師が大まかなテーマを設定します。  
決まったものを皆さんで同時に作るのではなく、各自のペースで自由に作品を作ります。

- 登り窯について

6月に“登り窯焼成”を行います。  
登り窯の焼成には、別途、焼成代がかかります。

【海浜公園の登り窯の特徴】

“穴登り窯”というタイプで、奥の部屋では釉薬を使った作品、手前の部屋では自然釉的な作品のできるものです。薪は海浜公園で発生する間伐材を使用します。

- 作品の発表について

砂丘ガーデン内にある海を眺めることのできる休憩所「グラスハウス」で作品展を行います。

※申込方法など、詳細につきましては、別紙募集チラシをご参照下さい。